

パブリック・サービス研究分科会 11月 「図書館力」研究グループ報告書	
日時	2010年11月17日(水)
場所	獨協大学図書館
記録	菅原(中央大学)
参加者	阿部(早稲田大学)、池上(東洋英和女学院大学)、菅原(中央大学) (氏名五十音順)
欠席者	市川(法政大学)、田中(山梨英和大学)、武藤(中央学院大学) (氏名五十音順)

前回までのグループ研究まとめ

- ・ 図書館は「汎用性技能」を教えることができる場であるのに、大学内におけるその認識は低い。その原因として学内他部署と図書館に壁がある点そして、文部科学省の図書館機能に対する発言の少なさの2点が挙げられる。
- ・ 前回からの課題であった「学士課程教育の構築に向けて(審議のまとめ)」を読み、大学での図書館に対する認識について意見交換。

グループメンバーの所属大学の事例について意見交換

- ・ 各大学における他部署との連携について

今後の方針について意見調整

- ・ 図書館が行っていることは学内他部署ではあまり知られていない。現状を把握するために学内他機関へのアンケートの実施を検討した。
- ・ 他部署の職員との連携が重要であることから、図書館主催のオープン研修の実施を検討した。その際に図書館として何を広報していくのか考えていくことが重要である。数的なデータだけでなく、図書館にどのような機能があるのかまた学士力にいかに関与できる機能を持っているかを広報する必要がある。今後各自が広報用の資料を作成することを検討した。